

2021年7月6日

第42回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第42回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

現況のDI値は前回3月調査まで製造業、建設業はプラスを維持していたが、今回の調査でマイナスに転じ、すべての業種においてマイナスとなった。
観光業においてはすべての事業者が現況悪いと回答し、観光業は特に深刻な打撃を受けている。
今後7月から9月にかけての見通しについては、新型コロナウイルスワクチンの接種による期待感はあるものの、現況変わらないと回答している。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

令和3年6月調査

	前回調査		今回調査			
	A 現況 (R3.3)	見通し (R3.4-6)	調査数	B 現況 (R3.6)	(B-A)	見通し (R3.7-9)
					前回現況 との対比	
総合	-38	-10	100	-41	-3	1
農業	-20	-10	10	-10	10	20
建設業	9	0	11	-9	-18	-18
製造業	25	0	11	-9	-34	0
卸売・小売業	-32	-4	25	-40	-8	8
観光業	-82	-18	11	-100	-18	0
飲食業	-78	-33	10	-80	-2	10
サービス業	-52	-10	22	-41	11	-9

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所(業種別内訳は上表参照)
- 調査方法 インターネット、電話等による聴き取り
- 調査内容 (1)現在の景況感:良い、普通、悪いのいずれかを回答
(2)3ヵ月後の見通し:良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
「DI」(Diffusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

武雄市営業部商工観光課

〒843-8639

武雄市武雄町大字昭和12番地10

TEL:0954-23-9237 FAX:0954-23-3861

E-MAIL:syoukougankou@city.takeo.lg.jp